

工房通信

NO. 16
2015年4月

象嵌ギャラリーあ〜と木の絵工房

〒413-0235伊東市大室高原4-647 ☎0557-51-5185
<http://www.art-kinoe.com>

久しぶりに、工房通信再開します。

8年目を迎えた森のぞうがん美術館の周りには新しい小ニュースが次から次へと湧き出てくるものですから、全く畑ちがいの人たちとの交流も多くなりました。これからそんな話題をすこしづつご披露していきます。



小室山山頂

森のぞうがん美術館

美術館はおかげさまで8周年を迎えました。春爛漫の伊豆の空は、ただいま桜吹雪の真ただ中、あと数週間もすると、ここ小室山はつづじの里に姿を変えます。春も夏も秋も冬も大好きな小室山、誰もが心を開く大きな空がすぐ近くにあるからです。

ペラはお年頃の4歳になりました。肖像画のペラはここにいます



木象嵌であなたの愛犬をお作りします。
写真をご用意してください。

美術館には私の愛犬がいっぱい！
新しいホームページ出来ました。
愛犬いいね！
ドットコム

「愛犬いいね」で検索してください。

味のあるくらし 伊豆高原の熟年びとと畑ちがいのお話を一つ

以前この工房通信では

“味のある熟年びと”と題して、第二の人生をこの伊豆高原で楽しむ人々を紹介してきました。衣食住、すべての暮らしをフルに楽しむ働き者のご夫婦、コーラスが好きで地域の人達とミュージカルを発表、老人ホームへの演奏活動をする人、家族から離れて一人で移り住み陶芸に没頭する人。楽しみ方はいろいろですが共通するのは仕事を終えた今、ほんとうにやりたかったことを実現して人生謳歌している人達でした。人生経験ゆたかで、しかし多少頑固でちょっと変わり者？ 愛すべき人々でした。

そして今また、この伊豆高原に大きな旗を掲げて一人の熟年びとがやってきました。畑では這いつくばって人の2倍の仕事をこなし、仲間が現れると農業と食の関係に熱弁をふるいます。掲げた旗には、「人間関係は没交渉ではいけません。ワイン・ワインでもいけません。明るく楽しく、お役立ち！」とありました。「地域を活かし地域に活かされる」がスローガンと言います。元読売新聞記者宮崎さんです。象嵌の横田と、畑大好き人間、田中丸さん、みんなで「ゆうゆう倶楽部」立ち上げました。まずは畑を借りて、安納芋づくりを始めようということで、森の象嵌美術館のお客様にもその話をし、現在20名ほどの参加が決まりました。さてどんな畑になることやら、にぎやかになりそうな予感です。〇〇合戦にだけはならないようお願いしますね。新しい夢が膨らみます。

伊豆高原ゆうゆう倶楽部

☆甘い安納芋を作ります。苗植えと収穫の時はぜひ参加を

先ず 4月21日(火) 苗植え

☆雑草取りにはご協力を。
☆一区画には好きな野菜をどうぞ
☆仲間同士で趣味の世界も。
☆海辺の民宿をご紹介します。
☆家族みんなで収穫の楽しみ。詳しくはお問い合わせください。

090・5003・6195横田



膨らむ畑
見に来てください

NHK文化センター—青山教室の作品展を2016年秋に開催します。
会場は表参道ヒルズに決定

来年のことを言うと鬼も猿も笑いそうですが、象嵌作品は、一作創りあげるのに、相当時間のかかるものです。青山教室の仲間はその上また相当な個性派ぞろいときていますから、大作が期待できます。来年秋の作品展おたのしみに！

アプのひとり言

月日の流れは速いもので美術館看板犬の座をペラに譲ってからもう何年たったか。アプのママは最近新しいことに挑戦しているようです。

2015年10/31まで
有効
ご招待券
森のぞうがん美術館